

## CELLiST™ BASAL Medium (Model No. BASAL10P)

品名	型番	包装	内容量
CELLiST™ BASAL Medium	BASAL10P	1 L Aluminum Pouch	25.3 g

### **製品の特長:**

- 成分が既知 (Chemically-defined) であり、動物由来成分を含みません。
- 加水分解物などの組成が不明な成分を含みません。
- 成長因子類などのタンパク質を含みません。
- ヒボキサンチンおよびチミジンを含みません。
- L-グルタミン源を含みません。
- 炭酸水素ナトリウムを含みません。
- ポロキサマーを含みます。
- 7.5 g/L のグルコースを含みます。

### **保管条件:**

液体調製前の粉末培地は、暗所の冷蔵（2–8°C）にて高い湿度を避けて保管してください。液体調製後は、暗所の冷蔵（2–8°C）にて保管してください。

### **液体培地の調整方法:**

表 1 1L 培地調整時の各種パラメーター

培地 粉体重量	NaHCO <sub>3</sub> 添加量	水の添加量	pH*	浸透圧*	調整後 培地重量	比重（室温）
25.3 g	1.8 g	986 mL (986 g)	6.8–7.3	290–310 mOsm/kg	1010 g	1.01

\*参考値

1. 適切な容器と攪拌子を準備します。重量ベースで調製する場合には、容器と攪拌子の重量を測定してください。
2. 容器に 90% 容量 (900 mL) 程度の細胞培養グレードの水（室温）を入れます。
3. 本品パウチの全量 (25.3 g) を容器に加えます。少量の細胞培養グレードの水をパウチに入れ、パウチに残った本品を容器に洗い込みます。
4. 1.8 g の炭酸水素ナトリウムを添加します。
5. 本品が完全に溶解するまで約 20 分攪拌します。
6. 細胞培養グレードの水で最終容量 (1 L) に調整し、均一になるまで約 10 分攪拌します。この時、表 1 に従い重量ベースでのメスアップも可能です。
7. pH が 6.8–7.3 であることを確認します。もし範囲外の場合は HCl もしくは NaOH で調整してください。
8. 無菌条件下で 0.20–0.22 μm 孔径のフィルターを用いてろ過滅菌をします。
9. 使用まで暗所にて冷蔵（2–8°C）保管します。
10. 使用直前に、L-グルタミンまたは AminoStable™を溶液に加えます（最終濃度 2~6 mM を推奨）。また必要に応じて、成長因子類（インスリンや IGF-I など）を添加します。

### **使用用途:**

- 本製品は研究用途に使用される培地です。それ以外の目的には使用しないでください。
- 製造へのご使用につきましては、下記までお問い合わせください。

味の素ヘルシーサプライ株式会社

アミノ酸営業本部

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目 19 番 8 号

Mail: ahs\_iyaku@asv.ajinomoto.com

TEL03(3563)7577 FAX03(3563)3221